

2021年9月議会

命と暮らし、人権を守る県政にむけ 日本共産党が積極的提案

いのち

【通学路の安全対策】

**痛ましい事故を繰り返さない
県、警察、教育委の連携強化を提案しました**

八街市の事故を受けた緊急点検で3495もの危険箇所が指摘されています。県のイニシアチブで警察、教育委員会、道路管理者が協議するなど、安全対策が必要です。

**今年度の信号機設置はたったの15基
大幅増設を求めました**

信号機の「設置指針」にも「地域住民及び道路利用者の意見に十分配慮する」とあります。しかし、県警は信号機の設置要望数すら明らかにせず、対応も来年度以降の見込みとしています。思い切った予算増額が必要です。

【土砂災害防止対策】

**盛土による土砂災害を防ぐ県条例の制定を
提起しました**

熱海市で大規模な土石流があり、不安が高まっています。宅地造成の盛土などでは一定の縛りがありますが、盛土そのものを規制する法律はありません。法整備を国に求めるとともに県独自の条例制定を求めました。

人権

【県立学校の校則】

**黒染めスプレーが25校⇒37校へと増加
(2019年度から2020年度)**

校則の見直しを迫りました

千葉県弁護士会が、頭髮黒染め指導は憲法にある自己決定権や表現の自由を侵害し、体罰に準ずるもの。行うべきでないと「警告」しています。ところが県教委は本人の同意に基づく適切な指導だといまだに容認しています。教育委員会↑

▽や知事に児童・生徒の人権を守る校則の見直しを提案しましたが、知事は校則について見解を示すことができませんでした。

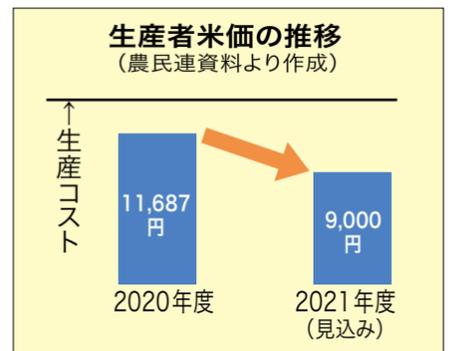
地場産業

【米価暴落対策】

**空前の大暴落で米作りが危機
価格保障と在庫米の隔離が必要です**

コロナ禍、需要の落ち込みで米価が大暴落し「米作りを続けられない」と悲痛な声が上がっています。生産コストは1俵(60キロ)1万5000円ですが、今年度の生産者米価(見込み)は9000円台と、昨年より2割から3割もの値下がりです。

県は米農家への価格保障や所得補償は拒んでいます。国に過剰在庫米を買い上げ市場から隔離することを求めるとともに、県も価格保障など直接支援に乗り出すべきです。



執務室は34度超 やっと柏兎相のエアコン修理へ

柏兎相相談所の空調故障が今年2月に判明していたのにも関わらず、猛暑の8月になっても事実上放置され、体調を崩す職員もいました。日本共産党が調査した8月10日の執務室は34.2度でした。

その日のうちにエアコン修理と、冷風扇などの臨時的措置を緊急要望。8月16日には熊谷知事に直接早急な対応を求めました。さらに9月議会でも取り上げ、現場の強い要望にも押されて「設備を新しくするには、時間や費用がかかる」としていた県は、11月から工事に着手し、1月末までにすべての配管を新設します。市民と議会のとりくみが、ついに県を動かしました。



健康福祉常任委員
みわ由美



文教常任委員
加藤英雄

いのち・暮らしを守るために
千葉県めぐりに

日本共産党千葉県議会報告

2021年 秋季号

日本共産党千葉県議団

(県議団控室) 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-5

電話 043-223-2544

<https://www.jcp-chibakengikai.jp/>